



「社会を変える仕事をしよう」 ホームレスをビジネスパートナーにした 社会的企業「ビッグイシュー日本」の軌跡

相対的貧困率が先進国で米国に次いで2番目に高く、6人に1人は貧困ラインを下回る日本。今までの暮らしが突然あたりまえのもでなくなる現実。そんな状況や不安を、社会全体で支えていくことが必要になっています。ホームレスの就業支援を、13年以上民間ですすめておられる「The Big Issue Japan」の佐野章二氏の講演会です。



「どんな宝石よりもBig Issueの雑誌が輝いて見えた」と語る販売員

100%失敗すると言われた
社会的企業がホームレスの
人々とつないできた笑顔

日時:2016年7月16日(土)
14:00-16:00

会場:大津市ふれあいプラザ
中会議室

大津市浜大津4-1-1明日都浜大津5階
参加料:1000円

(資料代*Big Issueの最新号付)

定員:65名(予約先着順)

申込先:077-527-8661

(大津市市民活動センター 9:00-22:00)

主催:大津市市民活動センター

共催:大津夜まわりの会

フードバンク滋賀

後援:大津市社会福祉協議会



開催にあたって

日本の生活保護受給者は増加(2015年216.5万人)していますが、世界的に見ると生活保護の補足率は16%(フランス91%、スウェーデン82%)と低い状況です。国の生活保護支出の対GDP比では、アメリカよりも低い0.3%(アメリカ3.7%)です。

人々がお互いに支えあえる社会のために市民や行政、企業ができること、そしてそのような仕組みはどのようにつくっていいのか。

「100%失敗する」といわれながらチャレンジし、現在「ビッグイシュー基金」を設立してホームレスの人々の自立のために奔走する事業の全容を紹介していただきます。

The Big Issue ～失敗しても再チャレンジしやすい社会を目指した社会的企業

ビッグイシューは1991年にロンドンで生まれ、日本では2003年9月に創刊しました。ホームレスの人の救済(チャリティ)ではなく、仕事を提供し自立を応援する事業です。

定価350円の雑誌『ビッグイシュー日本版』をホームレスである販売者が路上で売り、180円が彼らの収入になります。最初の10冊は無料で提供し、その売り上げ(3,500円)を元手に、以降は1冊170円で仕入れていただく仕組みです。

佐野章二 (Shoji Sano)

日本の社会起業家、都市計画コンサルタント。ビッグイシュー日本代表CEO。大阪出身。大学卒業後、映像制作会社、大学の学生部勤務、都市計画コンサルティング会社勤務を経て独立し、地域調査研究所を設立。ホームレス支援雑誌『ビッグイシュー日本版』を創刊し日本代表に就任。

大津市市民活動センター

Address:大津市浜大津4-1-1明日都浜大津1階

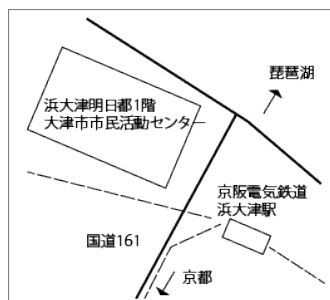
Open:9:00-22:00(年末年始休館)

Tel:077-527-8661

Fax:077-527-8662

Email:moveinfo@movementotsu.com

HP:http://movementotsu.com/



Access

京阪電気鉄道浜大津駅から徒歩1分(駅前の遊歩道からアクセス可)、JR大津駅から徒歩15分

駐車場は明日都浜大津の駐車場をご利用いただけます(有料)。